

平成29年度 第2回 東海村立図書館協議会 議事録

日 時	平成29年12月7日 (木) 14:00~15:50
場 所	図書館 研修室3
出 席	協議会委員8名, 事務局3名
次	1 開会 2 館長挨拶 3 議事 (1)前回会議時の懸案事項検討結果について(報告) ①コミュニティセンターでお話し会を開けないか。 ②コミュニティセンターの書架の配置を変え, リラックスして本を読める場所を作れないか。 ③新聞やテレビ番組等で紹介・推薦された本を図書館で展示することはできないか。 ④利用者からの意見書を新聞記事の切り抜きを掲示しているホワイトボードの裏側に掲示してはどうか。 (2)平成29年度前期運営状況について(報告) (3)今後の協議会について (4)その他 5 閉会

【要点】

(1)前回会議時の毛案事項検討結果について(報告)

① コミュニティセンターでお話し会を開けないか。

お話し会については、具体的な進展はない。担当職員が各コミュニティセンターに赴き現場の意見を蒐集しているところ。

→ お話し会で読み手を務めるであろう読み聞かせボランティアについて、現在の完全無償を有償にするか、または、ボランティアに参加すれば先進地を視察したり、研修に参加できるようにすることで、既存ボランティアの増員や新規ボランティア団体の立ち上げを目指し、ボランティアを活性化させては。

→ 小学校へ上がる前の保育所・幼稚園の園児の保護者に対する一層の読み聞かせ講座やオリエンテーションを実施してほしい。関心が高い保護者への啓発活動は、子供たちが本を好きになる助けとなる。

② コミュニティセンターの書架配置を変え、リラックスして本を読める場所をつくれないか。

コミュニティセンターの大幅改修計画が秋頃に中止となり、それに便乗する形でコミュセン図書室のレイアウト変更も同様に中止。今は担当職員が各コミュニティセンターを廻り、現場の意見を収集しつつ、関係課と協議中。

③ 新聞やテレビ番組等で紹介・推薦された本を図書館で展示することはできないか。

新聞で紹介された図書が、そもそも図書館に収蔵されていない等の理由から、実現は困難。現在は、文学賞の受賞作や、話題なっている出来事や行事に関連した図書を展示している。

④ 利用者からの意見書を、新聞の切り抜きを掲示しているホワイトボードの裏側に掲示してはどうか。

提案に従い、従来のインフォメーションコーナーから掲示場所を移したおかげで、意見書が見易くなった。利用者からの苦情等もないので、今後、このやり方を定着させる。

(2)平成29年度前期運営状況について(報告)

→ 図書館見学や職場体験への参加が、図書館から近い保育所・幼稚園・学校に偏っている。

図書館から遠い保育所・幼稚園・学校は図書館までの交通費の捻出することが難しいことが原因。

夏休み中、エンジョイサマースクールで実施する図書館探検等を学区ごとに分けて参加者を募集することで、(少人数でも)図書館から遠い保育所・幼稚園・学校に通う子供たちを同様のイベントに参加できる機会を増やせるのではないか。

(3)今後の協議会について

第3回図書館協議会の日程調整依頼文書について説明。

(4)その他

<委員から>

① 祝日開館について

・東海村図書館は、月曜祝日を休館日としているが、月曜祝日は開館し、翌火曜日を振替で休館日とした方がよいのではないか。

→ 祝日開館を始めるにあたっての事前会議にて、東海村立図書館は利用者への分かりやすさを優先し、月曜日を一律休館とした。この問題については今後、検討していきたい。

・遠くからでも休館日であることが分かる垂幕等を掲げることはできないか。

→ 印刷費を大きく抑える手段が必要。調査してみないと判断しかねる。

② 東海村立図書館のホームページについて

・「かんたん資料検索」に著者名を入力した場合、著書以外の図書まで検索されてしまい見づらい。

→ 東海村立図書館のホームページは広く情報を拾う仕様になっていることが一因、著書のみを拾うように検索することも操作次第で可能。

③ 電子図書について

・電子図書を貸し出す計画はないか。

→ 今のところなし。紙の図書と比較して維持費がかさむこと、一般の利用者が要望する分野におけるコンテンツ数が少ないと、運営会社が倒産した場合貸し出しが出来なくなってしまうことなど問題が多い。今はまだ時期尚早である。